

(訳文)

2020年3月18日、ハバナ市
“革命62年目の年”

親愛なる友人の皆さん

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的大流行を受けて、多くの国ではこの衛生上の緊急事態に対応するため、様々な措置を打ち出しています。

各国の入国制限によって空路渡航が困難になり、経由地での規制や隔離措置に影響が広がっています。

私たちはこの厳しい状況に用心、予防、管理、責任をもって取り組まなければなりません。それを受けて、「ボランティアワーク及びキューバとの連帯の第15回メーデー国際ブリガーダ」の**延期**が決定されました。「キューバとの国際連帯メーデー集会」も同様です。

これら二つのイベントは11月後半に開催される予定であり、ブリガーダの名称は「ICAP 創立60周年国際ブリガーダ」となります。

キューバでは当該感染症の「予防・管理国家計画」が実施され、呼吸器症候群の集中監視が続けられています。

今日、私たちは次のように痛感しています。

“今は連帯の時であり、健康が人権のひとつであると理解し、国際協調を強化して共通の敵に立ち向かう時である。これこそが、キューバ革命とその国民による人道主義的实践に備わっている価値観なのだ”と。

友愛の抱擁とともに。

キューバ諸国民友好協会（ICAP）